

産業廃棄物処理計画書		4年 5月 13日
静岡県知事 川勝 平太 殿		
提出者		
住所 静岡県三島市谷田字雪沢173番地の2		
氏名 中林建設株式会社		
代表取締役 森田 崇		
電話番号 055-975-4332		
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>		
事業場の名称	中林建設株式会社 静岡営業所	
事業場の所在地	静岡県三島市谷田字雪沢173番地の2	
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	建設業 (総合工事業)	
② 事業の規模	元請完成工事高 13.8億円	
③ 従業員数	38名(正社員25名 それ以外の職員13名)	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	廃プラスチック 工事現場 → 委託処分 コンクリートガラ 工事現場 → 委託処分 アスファルトガラ 工事現場 → 委託処分 汚泥 工事現場 → 委託処分 木くず 工事現場 → 委託処分 金属くず 工事現場 → 委託処分 混合廃棄物 工事現場 → 委託処分	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項									
(管理体制図)	<table border="1"><tr><td>本 社</td><td>総括責任者 寺尾 直</td></tr><tr><td>処理計画担当部署 静岡営業所</td><td>責任者 西島 大治郎</td></tr><tr><td>工 事 部</td><td>責任者 西島 大治郎</td></tr><tr><td>工 事 現 場</td><td>責任者 西島 大治郎</td></tr></table>	本 社	総括責任者 寺尾 直	処理計画担当部署 静岡営業所	責任者 西島 大治郎	工 事 部	責任者 西島 大治郎	工 事 現 場	責任者 西島 大治郎
本 社	総括責任者 寺尾 直								
処理計画担当部署 静岡営業所	責任者 西島 大治郎								
工 事 部	責任者 西島 大治郎								
工 事 現 場	責任者 西島 大治郎								
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和3年度）実績】 別紙-1のとおり								
	産業廃棄物の種類								
	排 出 量	t	t						
	(これまでに実施した取組)								
②計画	【目標】 別紙-1のとおり								
	産業廃棄物の種類								
	排 出 量	t	t						
	(今後実施する予定の取組)								
産業廃棄物の分別に関する事項									
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各廃棄物ごとに分別して排出処理し、マニフェストに廃棄物の種類を確実に明示する								
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持で行う								

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ —— 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—— t	—— t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—— t	—— t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ —— 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—— t	—— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—— t	—— t
(これまでに実施した取組) 該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—— t	—— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—— t	—— t
(今後実施する予定の取組) 該当なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（——年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—— t	—— t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—— t	—— t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙-2のとおり			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】 別紙-2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年同様の取組を行う予定です		
※事務処理欄			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和3年度)実績】									
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず	コンクリートガラ	アスファルトガラ	汚泥	紙くず	木くず	石綿管	混合廃棄物
排出量(t)	25.795	4.520	1740.510	9451.660	44.940	0.000	321.790	0.000	26.780
① 現状 (これまでに実施した取組) 工事で発生した産業廃棄物は再資源化の観点から、原則的にすべて処分場に搬出する。									
【目標】									
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず	コンクリートガラ	アスファルトガラ	汚泥	紙くず	木くず	石綿管	混合廃棄物
排出量(t)	20.000	4.000	1000.000	5000.000	10.000	0.000	250.000	0.000	30.000
② 計画 (今後実施する予定の取組) 工事で発生した産業廃棄物は再資源化の観点から、原則的にすべて処分場に搬出する。 基本的に現状を維持し工事現場のゴミ類は分別し産廃ボックスにて排出する。									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和3年度)実績】									
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず	コンクリートガラ	アスファルトガラ	汚泥	紙くず	木くず	石綿管	混合廃棄物
全処理委託量(t)	25.795	4.520	1740.510	9451.660	44.940	0.000	321.790	0.000	26.780
優良認定処理業者への処理委託量	5.600	4.520	975.170	99.140	—	—	18.150	—	12.480
再生利用者への処理委託量	20.195	—	765.340	9352.520	44.940	—	303.640	—	14.300
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
① 現状 (これまでに実施した取組) 公共工事においては、各工事ごとに事前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を提出し、完工時にその実施書を提出している。									
【目標】									
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず	コンクリートガラ	アスファルトガラ	汚泥	紙くず	木くず	石綿管	混合廃棄物
全処理委託量(t)	20.000	4.000	1000.000	5000.000	10.000	0	250.000	0.000	30.000
優良認定処理業者への処理委託量	19.000	4.000	—	—	—	—	50.000	—	15.000
再生利用者への処理委託量	1.000	—	1000.000	5000.000	10.000	—	200.000	—	15.000
認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—
② 計画 (今後実施する予定の取組) 前年同様の取組を行う予定です。									